

# 自立式 L 型残存化粧型枠工法 エルダム



**丸高コンクリート工業株式会社**

URL <https://www.marucon.co.jp/>

本社 〒915-0057 福井県越前市矢船町1号6番地 tel. 0778(24)1234 fax. 0778(24)4050

三重事業所 〒514-2106 三重県津市美里町足坂116番地 tel. 059(279)3355 fax. 059(279)2195

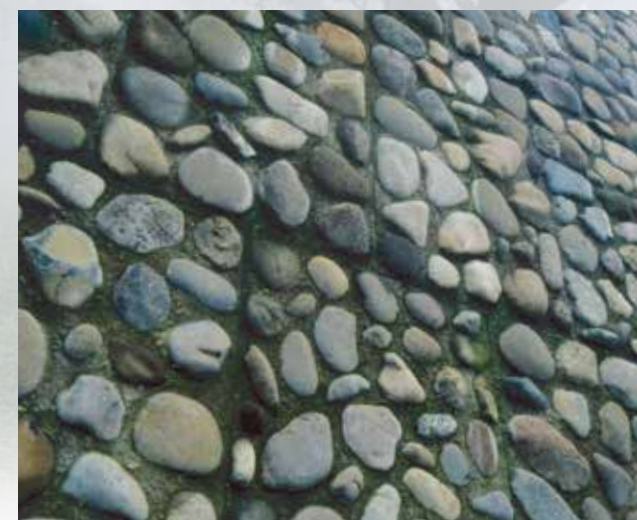
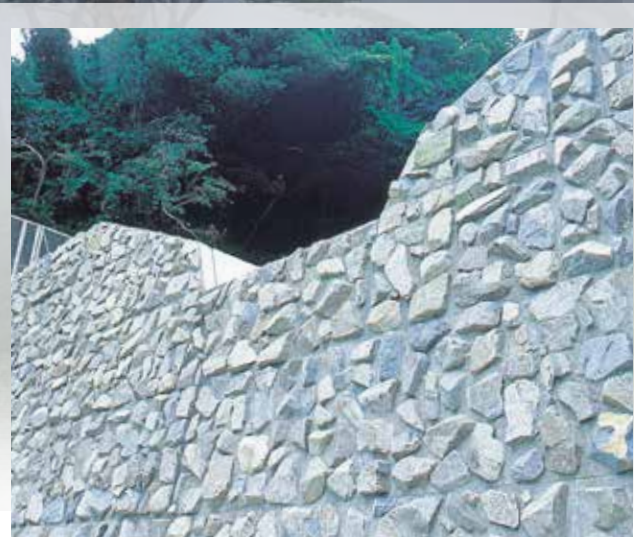
230520	本社	三重
	内外	内外
	●	



**丸高コンクリート工業株式会社**



施工性に優れたL型ダム枠ブロックです。  
 ブロック表面の模様は自然と調和するように、バリエーションを豊富に取り揃えております。



## 数量表

100㎡当り

材 料	形状寸法	全数量	単 位	備 考
	規 格			
エ ル ダ ム		66.67	個	垂直勾配
連 結 金 具	M16×45	133.34	〃	ボルト・ナット ワッシャー
ドッキングプレート	45×134×12	133.34	枚	
保 持 筋	Aタイプ	φ16×1570	kg	1.58kg/m
	Bタイプ	φ16×880	〃	1.58kg/m
ア ン カ ー 筋	φ16×840	88.48	〃	1.58kg/m

※上記の数値は垂直勾配のときのものです。  
 その他の勾配については、各地区の営業担当にお尋ね下さい。

## エルダム 4つの特長

### 1. 自立型プレキャストブロック

垂直用・1分5厘～5分用(5厘刻み)の11種類のブロックが全て自立する為、施工中の安定度が高く、作業が行いやすくなっています。

NETIS・KK-050016-A

国土交通省 新技術情報提供システム

### 2. 各勾配専用設計

ダムの前面背面の勾配が異なる場合(例えば前面2分、背面5分)でも、ブロック1段分の直高が全て1.5mになる様に設計されていますので、堤体コンクリート打設高も1.5mが確保できます。



### 3. 景観を損なわない

ブロックの前面に植石・化粧などを施すことにより、自然の修景にマッチしたダムの構築を可能にします。

### 4. 優れた経済性

商品そのものの経済性に加えて、施工が早い為、経済性に優れています。

※エルダムは、全て受注生産になります。



#### 保管・取扱いに関する注意事項

- 製品本来の目的・仕様以外でご使用になると危険ですので十分注意してください。
- 作業時には関係者以外の方が現場に立ち入らないように十分注意してください。
- リフト及びクレーンでの製品の移動時は荷崩れしないよう、静かに移動してください。
- 施工用具(吊りワイヤー、金具等)は使用前に十分に点検を行ってください。
- 施工用具の製品への取り付けは確実に行ってください。
- 重量物ですので、据え付け吊り込み中は、製品の下に入らないでください。
- 現場での作業時には、適切な保護具(ヘルメット、手袋、安全靴)をご使用ください。

#### カタログご利用にあたってのお願い

- このカタログに掲載の製品は、令和5年5月現在のものです。
- このカタログは、当社取り扱い製品の主要事項を掲載したものです。詳しい説明、使用図面等さらに詳しい資料を必要とされる場合には、担当者までお申し付けください。
- 掲載製品の中で、一部取り扱いできない地区・地域があります。
- 掲載製品の規格寸法につきましては、成型寸法となっておりますので表面加工により実寸法とは異なる場合があります。
- 単体図・展開図・断面図は参考例ですので、ご使用にあたっては設置場所、設置条件を考慮してください。
- 製品質量は参考値のため、仕様材料(セメント・骨材等)により、若干の変動があります。
- カタログ以外の製品、および特注品についても、設計・製作いたします。担当者までお申し付けください。
- 掲載製品の色につきましては、印刷の関係上、実物とは多少異なる場合があります。



## 施工要領

### 1. リフト計画の立案

指針等に従いリフト計画を行い、ブロックの割付を決定する。

### 2. 基準高のチェック(図1参照)

設計計画に従い掘削を開始し、所定の基準高に仕上げる。

### 3. ベースコンクリート

リフト計画に従い、地山とコンクリートをなじませる事と、当ブロックのアンカー設置をすることを目的としてベースコンクリートを打設する。

### 4. アンカー筋設置(図2参照)

ベースとなるコンクリートが硬化する前に、アンカー筋を所定の位置(ブロック間)に確実に設置する。

### 5. グリーンカット(打継モルタル)(図3参照)

ブリーディングによるレイタンスを高圧水又は電動ブラシ等で、コンクリートが完全に硬化する前に取除き、次回打設時に打継モルタルを打設する。

### 6. ブロックの据付け

ブロックをプレート版等により、所定の勾配に据付ける。

### 7. 各種取付金具の組立て

ブロックのフランジと、ドッキングプレートをボルト・ワッシャーで固定し、アンカー筋とドッキングプレートを保持筋に溶接し固定する。

### 8. 法肩表示の設置

ブロック天端両端にある穴に単管等を挿入し、法肩表示を設置する。

### 9. コンクリートの打設

指針等に従いコンクリートを打設する。

※4～8の作業を繰り返し、所定の高さまでコンクリートを打上げて終了となるが、『6. ブロックの据付け』の前に法肩表示を撤去し、その穴にコンクリートを充填する。

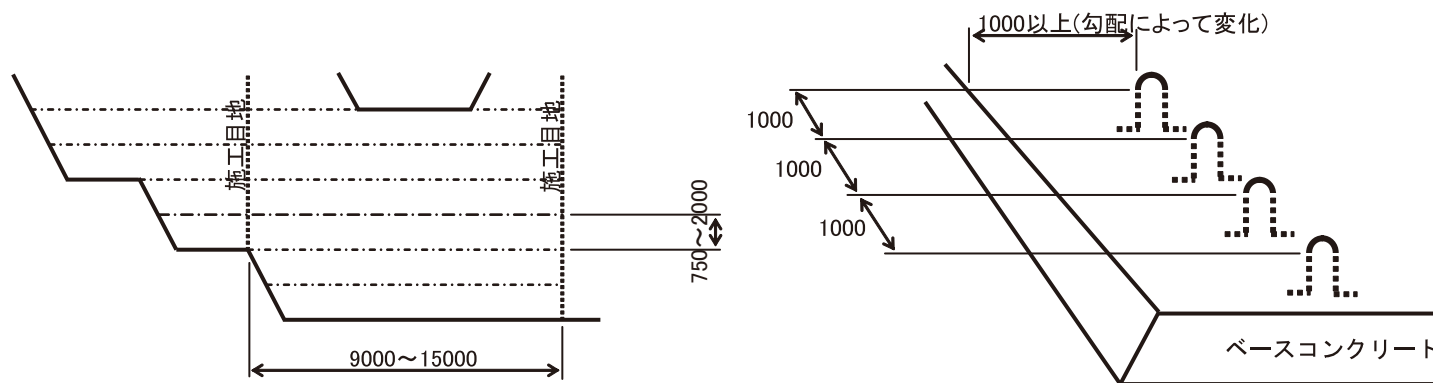


図1. 基準高のチェック

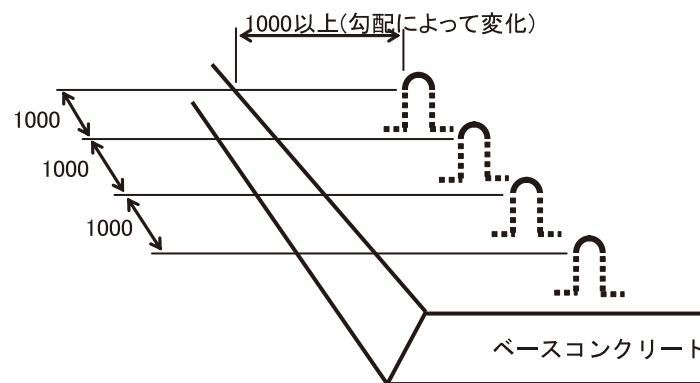


図2. 鉄筋挿入

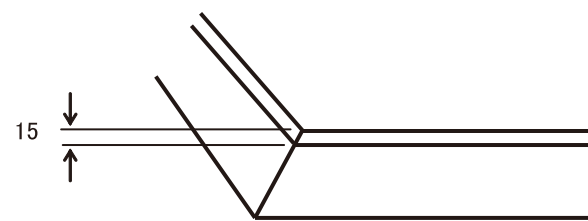


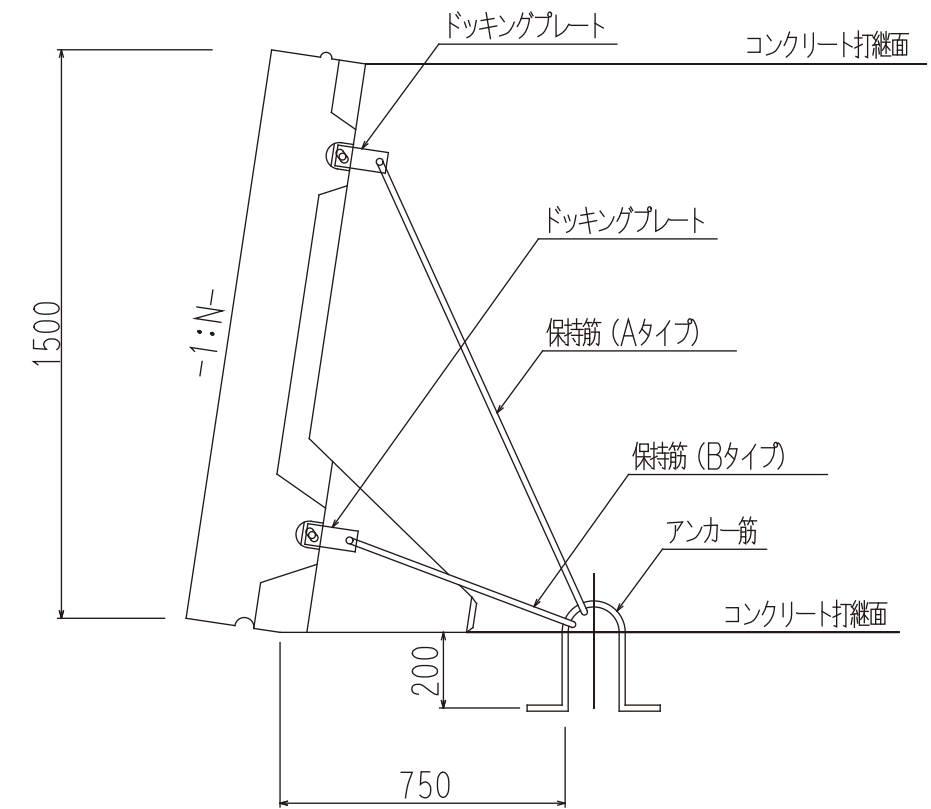
図3. グリーンカット

## 施工写真



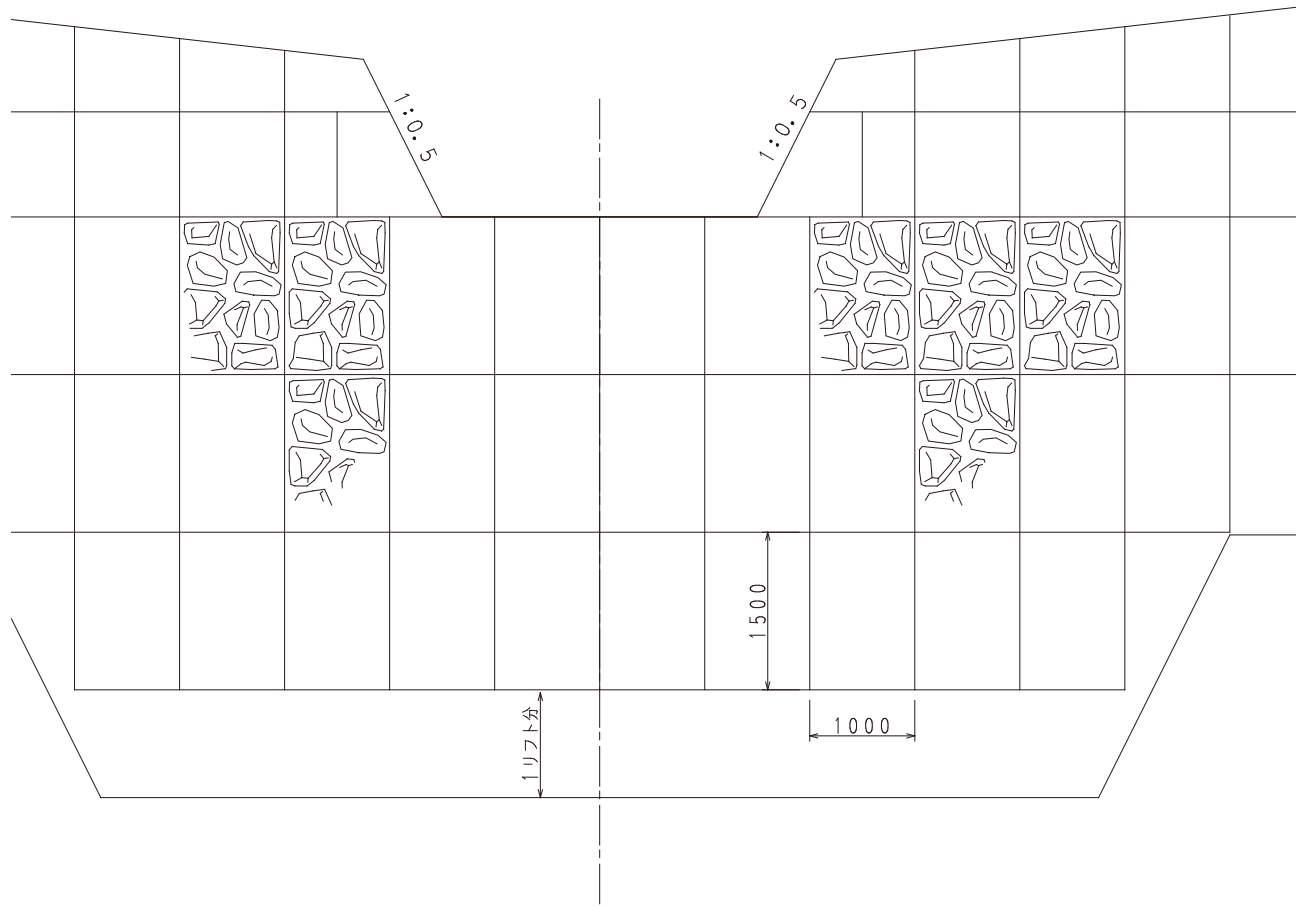


## 連結部詳細

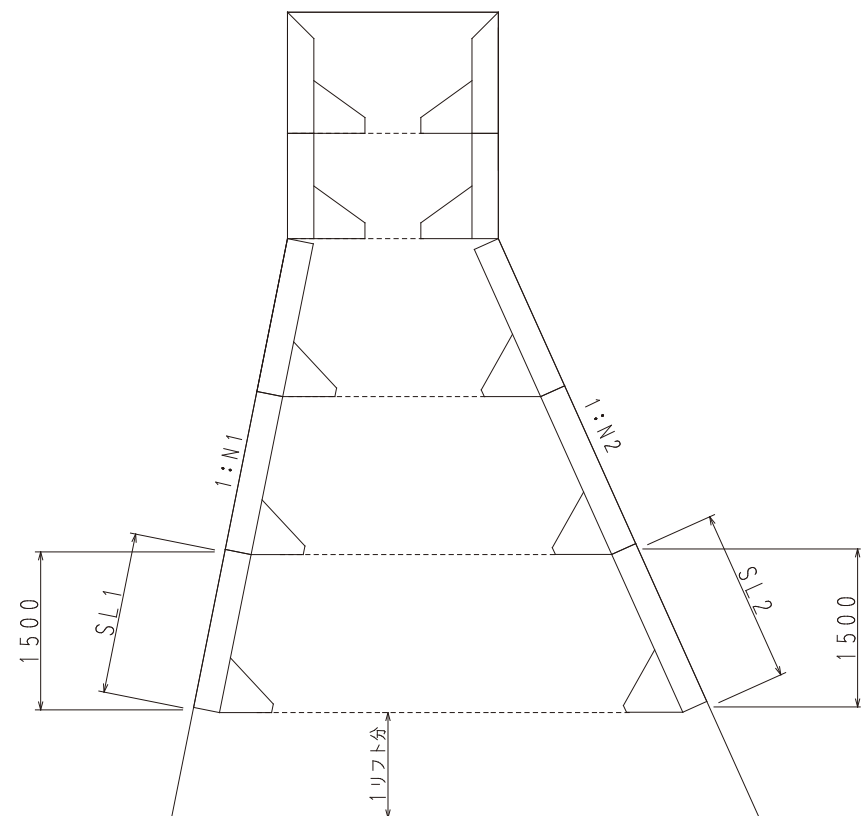




## 展開図



## 断面図





## 製品写真



美濃石



紀州石



玉石



打波石



丸太



WOOD



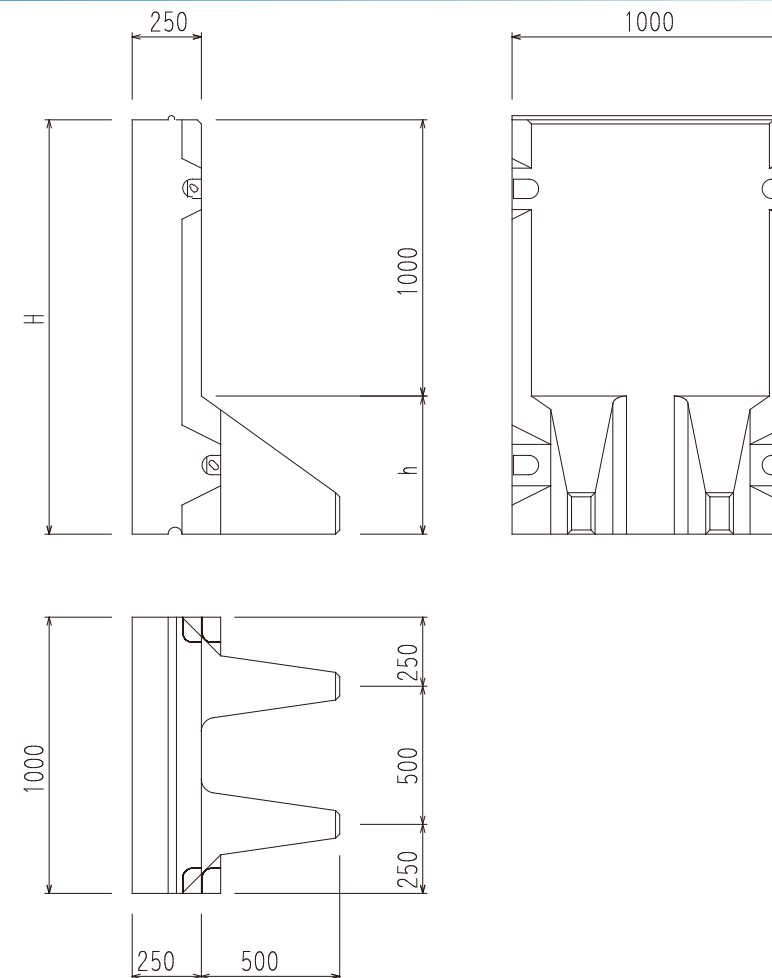
割石肌



フラット

景観にマッチするよう、バリエーションを豊富に取り揃えております。

## エルダム



## 製品寸法表

勾配	寸法	H (mm)	h (mm)	V (m <sup>3</sup> )
垂直		1500	500	0.428
0.5分		1502	502	0.427
1.0分		1507	507	0.428
1.5分		1517	517	0.430
2.0分		1530	530	0.433
2.5分		1546	546	0.439
3.0分		1566	566	0.446
3.5分		1589	589	0.453
4.0分		1616	616	0.462
4.5分		1645	645	0.473
5.0分		1677	677	0.485

※表の中の体積は、模様面を除いた版厚と脚の体積とする。  
 ※5.0分勾配を超える製品についても対応できる場合があります。